

VTV Express is a flyer issued by VTV Japan Co., Ltd., featuring valuable information on visual communication for its distributors.

オンライン会議中の“聞こえにくい音声” 機材の性能を引き出す**吸音パネル**で 快適な音環境を実現

接続先からの「聞こえづらい」の原因を追究し、音響機器のリプレイスではなく「吸音パネル」を提案することでお客様の抱えていた音の問題を改善したパートナー支援事例をご紹介します。

吸音ボード導入の決め手になった3つのポイント

会議室の反響音を計測！

問題を可視化し 信頼を獲得

現地調査で反響音が原因と判明し、後日計測器で数値を測定・提示したことで、問題を的確に捉えた対応にお客様から高い評価と信頼をいただきました。



音声デバイスの買い替えは不要？

抱えていた音問題の 根本を改善する提案

反響音の改善に向けて吸音パネルの導入を提案。お客様はハイスペックな音響システム導入も検討していたが、問題の根本を改善する提案に興味を示されました。



納得して導入できる！

実際に試すことで 音声改善の効果を実感

貸出用の吸音パネルを会議室に設置し、実際にお試しいただくことで、反響音の改善を体感していただき、提案内容にもご納得いただくことができました。



オンライン会議に関するお問い合わせはこちらまで



VTVジャパン株式会社
<https://www.vtv.co.jp>

<東京オフィス> 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 第2フナトビル6F
代表番号.03(5210)5021

<大阪オフィス> 〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-5-9 井門瓦町ビル5F

2025.06

【音声改善事例】機材の性能は問題ないのに音が届きにくいのは「反響音」のせいだった

販売店であるB社様の顧客企業では、すでにバー型のオンライン会議専用機を導入されていましたが、接続先から「音が聞き取りにくい」との指摘があり、音声品質の見直しを検討することになりました。B社様は課題解決に向けて、弊社VTVジャパンへご相談いただきました。

現地調査の結果、機器の音響スペック自体は会議室の規模に適していることが確認できました。しかし、実際に話してみると「声が響く」といった印象があり、快適なオンライン会議環境としては懸念が残る状況でした。

そこで反響の計測を実施したところ、会議室内の複数箇所で音の反射が発生していることが確認されました。高性能なシーリングマイクの導入も検討しましたが、当社では会議室の音環境を改善することが最適効果を生むと判断し、吸音パネルの設置をご提案しました。

※右図：吸音パネルを顧客企業の会議室に設置したイメージ図（B社様に提供）



反響の計測データを用いて問題を数値化し、具体的な改善案と導入イメージを提示。さらに2週間の試用期間を設け、実際の会議でご使用いただくことで吸音効果を明確に実感いただけました。その結果、「これなら導入する価値がある」とご納得いただき、導入へと至りました。

吸音パネルってどんな製品？

吸音パネルは、音の反響やこもりを抑えるために壁面に設置するパネルです。軽量で施工が簡単なため、既存の会議室やオフィスにも手軽に導入できます。デザイン性も高く、空間に合わせてレイアウトやカラーを選べるのが特徴です。オンライン会議や集中スペースの音環境改善に効果的です。



音の反響を抑えて声が
クリアに伝わる



マイクにノイズが
入りにくくなる



会議に集中しやすくなる



録音や議事録作成にも
適した環境になる

マグネット式 吸音パネル「イストフロン® パネル」のご紹介

イストフロンパネルは会議室や音楽教室などで反響音・残響音を手軽に調整できる吸音パネルです。

マグネット式でスチールパーテーションにワンタッチで着脱可能。石膏ボード下地にもホッチキスで簡単に取り付けられます。独自開発の不燃クロスを使用し、安全性と豊富なカラーバリエーションで空間演出にも最適です。



他にも会議室向けのAV設備構成例を多数ご紹介しています！

オンライン会議室向けAVシステム構成例 <https://www.vtv.co.jp/solution/av-integration/kosei.html>

